

## 「徒歩、自転車、公共交通利用促進のための道路対策社会実験」

## アンケート調査の実施について



## ～アンケート調査へのご協力のお願い～

日頃からつくば市政にご理解、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

つくば市では、環境に優しいまちづくりを目指し、つくば環境スタイル“SMILE”（つくば市環境モデル都市行動計画）を掲げております。

この取組の一つとして実施中の「徒歩、自転車、公共交通利用促進のための道路対策社会実験」では、歩行者、自転車利用者の安全性や快適性、自動車を中心とする移動から低炭素な交通手段への転換の可能性などを検証してまいります。

このため調査エリア※の春日学園周辺にお住まいの皆様に、社会実験における道路対策の効果やご意見等をアンケート調査で把握してまいりたいと考えております。

皆様にはお手数をおかけして誠に恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、このアンケートに記載された内容は正確かつ適切に処理を行いますので、個人が特定されたり、他の目的に使用したりすることはありません。

※調査エリア及び社会実験実施エリアについては、裏面をご覧ください。

＜ご記入にあたってのお願い＞

- この調査は、調査エリア【春日学園周辺区域（西大通り、北大通り、蓮沼川に囲まれた区域）】内の全世帯を対象としています。
- アンケート票は、各世帯に2部お配りしています。2人以上の世帯の方は、代表2名がそれぞれご回答ください。
- アンケート票のご記入は、次の要領でお願いします。
  - ◇回答の○印の数は、（該当するもの一つに○）、（あてはまるもの全てに○）などと指定していますので、それに合わせて番号に○を付けてください。
  - ◇回答欄が「（      ）」の場合は、（      ）内に文字や数値を具体的に記入してください。

- アンケート票は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに、

平成27年12月25日（金）までにご投函ください。

なお、本調査についてのお問合せは、下記へお願いいたします。

【調査内容・回答方法に関するお問合せ】

調査受託者：国際航業株式会社

社会インフラ部 都市空間マネジメントグループ 担当：伊藤、宗

TEL：042-307-7433（受付時間：平日 9：30～17：00）

【調査の趣旨に関するお問合せ】

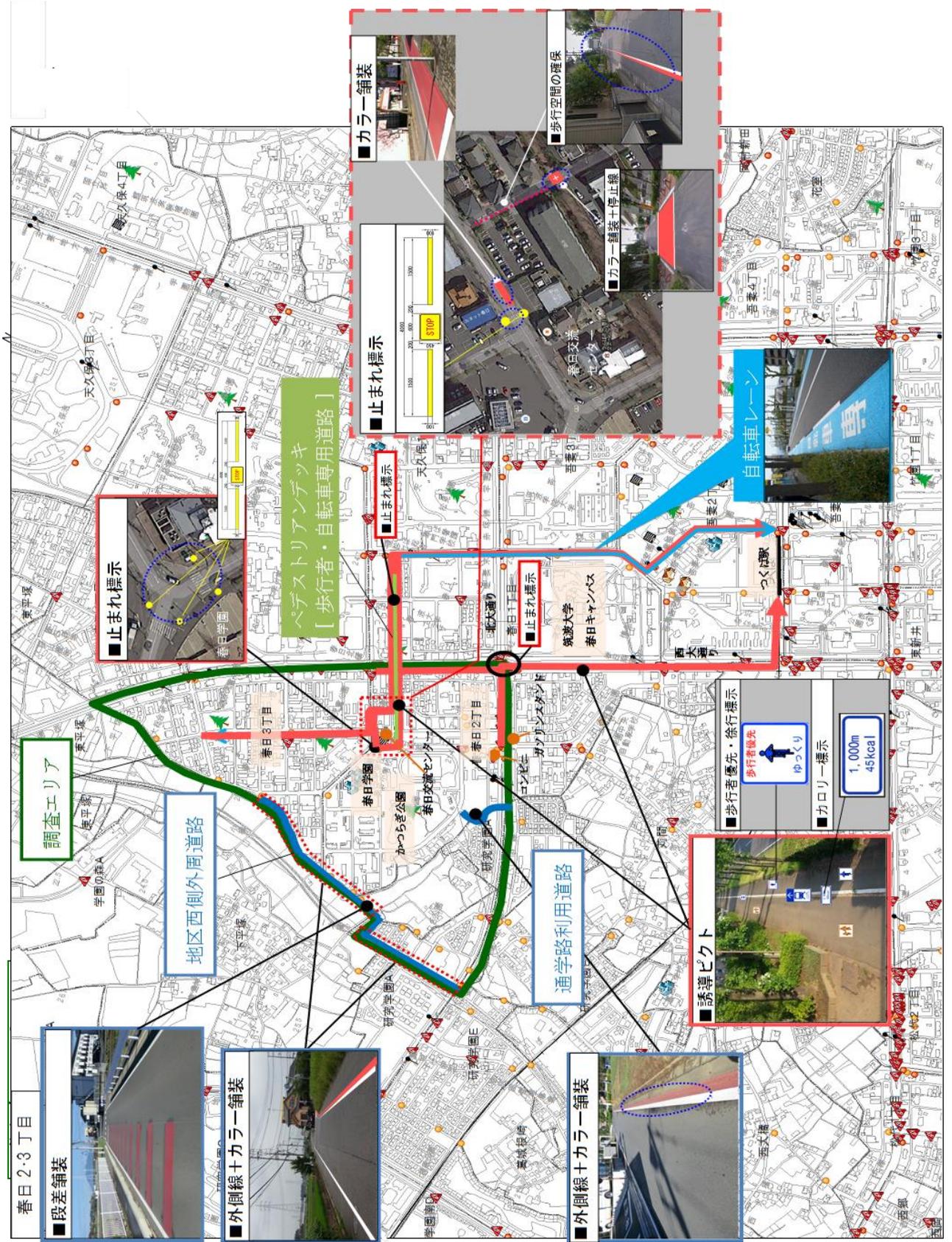
つくば市科学技術振興部スマートシティ推進課 担当：岡野

TEL：029-883-1111 内線 5672（受付時間：平日 8：30～17：15）

# 「徒歩、自転車、公共交通利用促進のための道路対策社会実験」

## 調査エリア及び社会実験実施エリア

調査票の設問中に出てくる「社会実験」は、下図の「社会実験実施エリア」内の道路対策を示しています。



■徒歩、自転車、公共交通利用促進のための道路対策（環境対策）についておたずねします。

問1 あなたは、以下の路面標示（ピクトグラム）が地区内で行われていることを知っていましたか。知っているもの全てに○を付けてください。

1. 駅の方向の標示	2. 駅までの距離／消費カロリー標示
 	 
3. 歩行者通行位置標示	4. 自転車通行位置標示
 	 
5. 速度注意喚起	6. 通学路位置／児童注意喚起
 	 
7. 全て知らない（⇒問3へ）	

問2 あなたはどのようにして問1の路面標示を知りましたか。あてはまるもの全てに○を付けてください。

- |                |               |                   |
|----------------|---------------|-------------------|
| 1. 道路を通ったときに見た | 2. 立て看板       | 3. 市の広報（HPや市の説明会） |
| 4. 新聞などのメディア   | 5. 家族や友人から聞いた |                   |
| 6. その他（        |               | ）                 |

問3 あなたは路面標示について環境面、安全面でどのような効果があると思いますか。あてはまるもの全てに○を付けてください。

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| 1. 歩行者が歩きやすくなる | 2. 自転車が走りやすくなる    |
| 3. 防犯に役立つ      | 4. 交通事故防止に役立つ     |
| 5. 来訪者にもやさしい   | 6. 健康面での意識向上につながる |

問4 あなたは路面標示が、徒歩、自転車、公共交通の利用促進につながると思いませんか。あてはまるもの1つに○を付けてください。

1. 思う	2. 少し思う	3. 思わない
-------	---------	---------

問5 今後、他の地区において、これらの路面標示はあるほうがよいと思いませんか。それぞれ番号に○を1つずつ付けてください

路面標示対策	あるほうがよい	どちらかといえは	どちらでもない	ないほうがよい	ないほうがよい
駅の方向の標示 	5	4	3	2	1
駅までの距離／消費カロリー標示 	5	4	3	2	1
歩行者通行位置標示 	5	4	3	2	1
自転車通行位置標示 	5	4	3	2	1
速度注意喚起 	5	4	3	2	1
通学路位置／児童注意喚起 	5	4	3	2	1

■路面標示についての自由意見をご記入ください。

路面標示の取り組みに関する意見や感想等ございましたら、ご記入ください。

■徒歩、自転車、公共交通利用促進のための道路対策（安全対策）についておたずねします。

問6 あなたは、地区内で以下の安全対策が行われていることを知っていますか。知っているもの全てに○を付けてください

1. 車道へのカラー舗装



2. 段差舗装



3. 外側線+歩行空間へのカラー舗装



4. とまれ表示



5. 全て知らない（⇒問9へ）

**裏面にお進みください。**

問7 あなたはどのようにして問6の安全対策を知りましたか。あてはまるもの全てに○を付けてください。

- |               |               |                    |
|---------------|---------------|--------------------|
| 1. 実際に路面表示を見て | 2. 立て看板       | 3. 市の広報（HP や市の説明会） |
| 4. 新聞などのメディア  | 5. 家族や友人から聞いた |                    |
| 6. その他（       |               | ）                  |

問8 あなたは地区内の安全対策が行われている場所をどのように通りましたか。また、自動車 または 徒歩・自転車 で通った場合は、それぞれの安全対策によって安全になったと思いますか。それぞれ番号に○を1つずつ付けてください

安全対策	どのように通ったか	安全になった	安全に変わった	どちらかといえば	変わらない	どちらかといえば危険になった	危険になった
車道へのカラー舗装 	1. 徒歩で通った 2. 自転車で通った 3. 自動車で通った 4. 通っていない	5	4	3	2	1	
段差舗装 	1. 徒歩で通った 2. 自転車で通った 3. 自動車で通った 4. 通っていない	5	4	3	2	1	
外側線＋歩行空間へのカラー舗装 	1. 徒歩で通った 2. 自転車で通った 3. 自動車で通った 4. 通っていない	5	4	3	2	1	
とまれ標示 	1. 徒歩で通った 2. 自転車で通った 3. 自動車で通った 4. 通っていない	5	4	3	2	1	

問9 安全対策を行うことは、徒歩、自転車、公共交通の利用促進につながると思いませんか。  
 ○を1つ付けてください。

1. 思う	2. 少し思う	3. 思わない
-------	---------	---------

**■あなたの外出時の移動手段についておたずねします。**

問10 今年10月ごろ（社会実験前）までの外出時の移動手段について、頻度はどれくらいですか。それぞれ最も近い頻度に○を付けてください

移動手段	ほ ぼ 毎 日	週 に 4 〜 5 日	週 に 1 〜 3 日	月 に 1 〜 3 日	年 に 1 〜 6 日	な し
徒歩						
自転車						
自動車 (同乗も含む)						
公共交通機関 (バス・電車)						
その他 〔 〕 ※よく利用する 移動手段があれば						

問11 今回の社会実験全体を通じて、外出時の移動手段を変えようと思いましたか。実際変えたかどうかもふまえて○を1つ付けてください

- 1. 変えた
- 2. 変えたことがある
- 3. 変えてもよいと思ったことがある
- 4. 変えようと思わない、思ったことがない (⇒問14へ)

問12 問11で「1」「2」「3」と回答された方におたずねします。変えた、変えてもよいと思った移動手段と頻度を教えてください。「①何から」「②何へ」の選択肢をそれぞれ選び、「どのくらいの頻度で②に変えてもよいか」と「実際どれくらいの頻度で②を利用したか」最も近い頻度にそれぞれ○をつけてください。

①何から	→ ②何へ	どのくらいの頻度で②に変えてもよいか	実際どれくらいの頻度で②を利用したか
1. 徒歩 2. 自転車 3. 自動車 4. 公共交通機関 (バス・電車) 5. その他 [ ]	1. 徒歩 2. 自転車 3. 自動車 4. 公共交通機関 (バス・電車) 5. その他 [ ]	5. ほぼ毎日 4. 週に4日 3. 週に1日 2. 月に1日 1. 年に1日 6日	5. ほぼ毎日 4. 週に4日 3. 週に1日 2. 月に1日 1. 年に1日 0. なし 6日
①何から	→ ②何へ	どのくらいの頻度で②に変えてもよいか	実際どれくらいの頻度で②を利用したか
1. 徒歩 2. 自転車 3. 自動車 4. 公共交通機関 (バス・電車) 5. その他 [ ]	1. 徒歩 2. 自転車 3. 自動車 4. 公共交通機関 (バス・電車) 5. その他 [ ]	5. ほぼ毎日 4. 週に4日 3. 週に1日 2. 月に1日 1. 年に1日 6日	5. ほぼ毎日 4. 週に4日 3. 週に1日 2. 月に1日 1. 年に1日 0. なし 6日

問13 問11で「1」「2」「3」と回答された方におたずねします。変えた、または変えてもよいと思った理由は何ですか。あてはまるもの全てに○を付けてください。

- 1. 健康によさそう
- 2. 安全に移動できそう
- 3. 環境によさそう
- 4. お金の節約になりそう
- 5. その他 ( )



問20 ご職業は何ですか。

- |                     |         |        |        |         |
|---------------------|---------|--------|--------|---------|
| 1. 小学生以下            | 2. 中学生  | 3. 高校生 |        |         |
| 4. 大学生（短期大学、専門学校含む） | 5. 大学院生 |        |        |         |
| 6. 主婦               | 7. 会社員  | 8. 自営業 | 9. 公務員 | 10. 研究員 |
| 11. その他（            |         |        |        | ）       |

問21 運転免許は持っていますか。

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. 持っている | 2. 持っていない |
|----------|-----------|

問22 今現在の世帯の人数は何人ですか。

- |       |       |       |       |         |
|-------|-------|-------|-------|---------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4人 | 5. 5人以上 |
|-------|-------|-------|-------|---------|

■自由意見をご記入ください。

徒歩、自転車、公共交通利用促進に対する取り組みへの意見やその他ご要望等ございましたら、ご自由にご記入ください。

**アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。  
返信用封筒に入れて、12月25日（金）までに、お近くの郵便ポストまたは  
郵便局にて郵送ください。**



## 2-4 周知・PR 方法

### (1) 周知・PR 方法の検討

一般的な対策周知方法を以下に整理した。

○対策の周知・PR

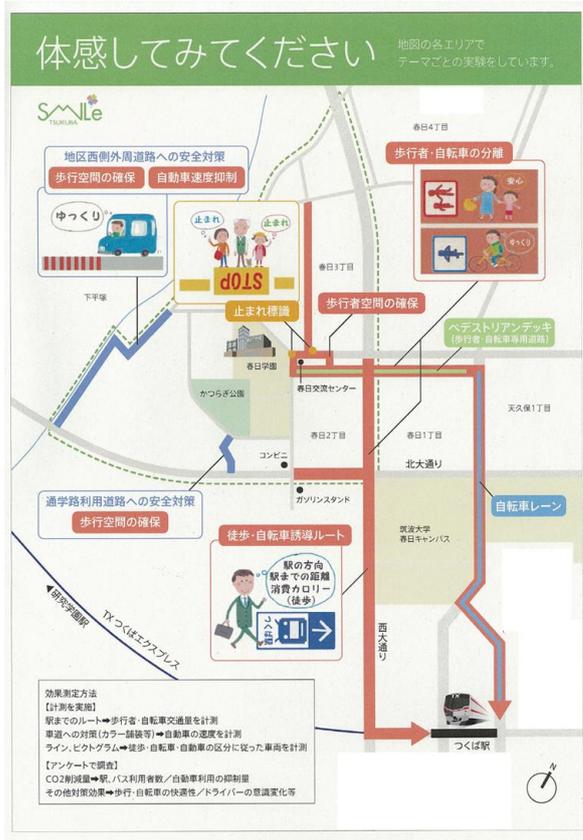
対策名	概要	留意事項
啓発 チラシ 配布	住民の行動を転換させるための啓発チラシを配布する対策。  イメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすく親しみやすい内容とする必要がある。</li> </ul>
イベント 開催	イベントなどを開催し、住民の行動を見直すきっかけづくりとする。近い将来に普及が期待される超小型モビリティで対策現場を試走する。  イメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催時期・ルートを選定に留意が必要。</li> <li>・事前の周知が必要。</li> </ul>
案内看板 設置	住民に社会実験の実施地であることを案内する対策。  イメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置位置に留意が必要</li> <li>・看板が飛ばされないよう安全に配慮する必要がある。</li> </ul>
注意喚起 看板設置	住民に社会実験の中で特に注意が必要な情報を知らせる対策。  イメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置位置に留意が必要</li> <li>・看板が飛ばされないよう安全に配慮する必要がある。</li> </ul>

対策を周知するという課題に対し、1) でまとめた一般的な対策を念頭に、留意事項を抽出し、それぞれ検討した結果「周知チラシ」「イベント開催」「案内看板」「注意喚起看板」での周知対策を選定した。

## (2) 周知チラシ

ルートを分かりやすく、内容を親しみやすいようにという住民からの意見を念頭に、コンセプトや実験の場所・ルートが分かる周知チラシを作成した。

調査エリア全世帯への配布、春日交流センターへの配置及び市ホームページへの掲載に利用した。



チラシ①



チラシ②



横断幕



概要説明看板①



概要説明看板②

### (3) イベント開催

#### 1) 住民説明会

地元住民に向けての周知を念頭に、住民説明会を、計3回実施した。

開催回	開催日時	内容要旨	参加者	場所
第1回	平成27年5月28日(木) 19:00~20:45	・実験概要の説明 ・住民の意見収集	・住民 ・つくば市スマートシティ推進課 ・国際航業(株)	春日交流センター
第2回	平成27年7月23日(木) 19:00~20:45	・実験計画の共有 ・住民の意見収集	・住民 ・つくば市スマートシティ推進課 ・国際航業(株)	
第3回	平成27年10月10日(土) 10:00~11:45	・実験計画と今後のスケジュール ・住民の意見収集	・住民 ・つくば市スマートシティ推進課 ・国際航業(株)	

## 2) 現地説明会

市が内外への広い情報周知を念頭に、主に報道関係者を対象とした説明会を、11月25日(水)に実施した。現地説明会で用いた資料を以下に示す。





### 外側線・段差舗装等実施前の状況 [安全対策]

歩き、自転車で快適・安全に楽しくCO<sub>2</sub>削減 つくば環境スタイル

#### 自動車の通行位置 (外側線関連)

	1.0m以内	1.5m以内
徳樹庵前<通学路>	4台 (14%)	11台 (36%)

#### 通行速度 (段差舗装関連)

	平均通行速度	85%マイル	最大通行速度
地区西側外周道路	36.6km/h	45.3km/h	52.6km/h

5/6

### 徳樹庵前<通学路> 外側線 (歩行空間)

2

1.5m

1.0m

### PR・パトロール

歩き、自転車で快適・安全に楽しくCO<sub>2</sub>削減 つくば環境スタイル

#### パーソナルモビリティ

#### 超小型モビリティ

イメージ

6/6

### 歩行者・自転車表示前の状況 [環境対策]

歩き、自転車で快適・安全に楽しくCO<sub>2</sub>削減 つくば環境スタイル

#### 特歩・自転車交通量 朝7時~9時

	歩行者 (人)	自転車 (台)
ペDESTリアンデッキ	103	63
西大通り	23	166

#### 通行区分割合

※西大通には既設の歩行者・自転車区分表示シートがある

	① 歩行者側	② 自転車側
ペDESTリアンデッキ	60%	24%
西大通り (別の表示有)	78%	77%

4/6

### 3) 超小型モビリティ・セグウェイパトロール

超小型モビリティや立ち乗り型ロボットは、つくば市ならではのとともに、低速の安定した走行、移動に係る負荷の低減などの特徴がある。そのような特徴を持ったモビリティに搭乗し、車道上（安全対策等）歩道上（道路対策等）の異常がないかのパトロールなどの巡回活動をするとともに、周知をはかる。

#### a. 概要

つくば市春日2・3丁目エリアからつくば駅までのルート上で行う道路対策のうち、超小型モビリティを用いて車道への対策（安全対策等）の保安パトロールを、セグウェイを用いて歩道への対策（路面シート、看板等）の保安パトロールを、それぞれ約2時間程度、ペDESTリアンデッキや西大通りなどの実験エリアで行う。

#### b. 実施日程

超小型モビリティパトロール

平成27年11月25日～平成27年12月16日の間の毎火・木曜日

セグウェイパトロール

平成27年11月25日～平成27年12月16日の間の毎水曜日



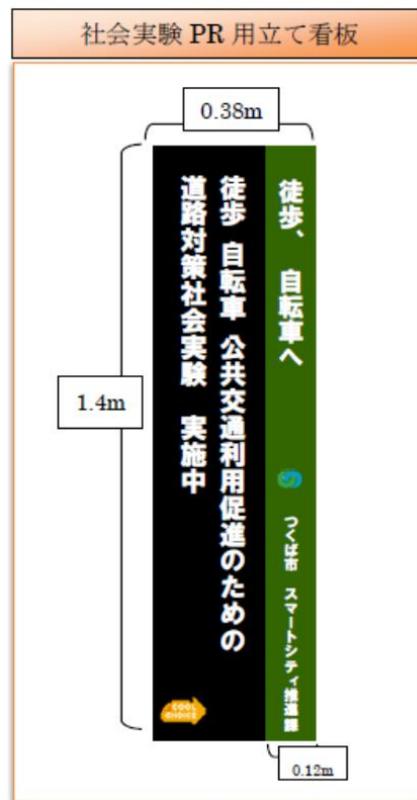
#### (4) 案内看板

##### 1) 案内看板のデザイン

案内看板デザインをつくば市サインガイドライン（H16）及び以下の点に留意して作成した。

留意点

- ・ 社会実験の内容が分かるよう中央に明記する。
- ・ 通行者に環境意識を高めるため「COOL CHOICE」マークを導入する。



##### 2) 案内看板の設置

通行者に社会実験を周知するため対策区間がどこからなのかを明確にし、自動車速度、交通量の多い箇所ではドライバーにも知ってもらう必要があるという意見を念頭に、社会実験 PR 用立て看板設置箇所の要件を抽出し設置箇所を選定した。

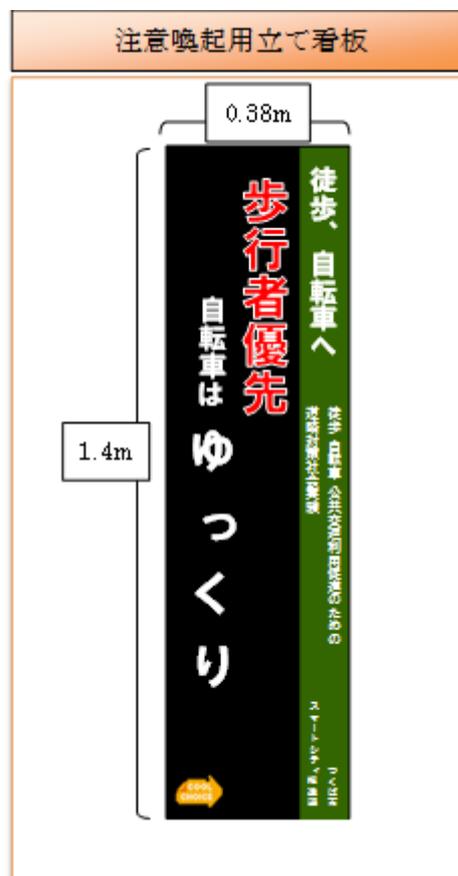
## (5) 注意喚起看板

### 1) 注意喚起看板のデザイン

注意喚起看板デザインをつくば市サインガイドライン（H16）及び以下の点に留意して作成した。

留意点

- ・歩行者を優先であることを自転車に知らせるため赤文字で強調する。
- ・自転車に徐行してもらうため「ゆっくり」の間隔を空けて強調する。
- ・通行者に環境意識を高めるため「COOL CHOICE」マークを導入する。



### 2) 注意喚起看板の設置

誘導ルート内の歩道において自転車・歩行者を安全に通行させるために、歩道内が狭く危険に晒されやすいペDESTリアンデッキ、自転車が速度を上げやすい交差点から次の交差点までの直線歩道における中間地点を念頭に、注意喚起用立て看板設置箇所の要件を抽出し設置箇所を選定した。

(6) 周知看板等設置概要図

凡例 ● 実施概要説明用 ● PR用 ● 横断幕 ● 注意喚起用（自転車）

